

今の自分と未来の自分と

さいたま市教員等資質向上指標 (キャリアnavi)【教諭】

| | | キャリア段階Ⅰ | キャリア段階Ⅱ | キャリア段階Ⅲ | |
|---|-----------------------|--|---|---|--|
| | | 採用時 | 初任期(1年~5年) | 中堅期(6年~15年) | 熟練期(16年~) |
| | | 教育に対する知見を深め、基盤を形成する。 | 組織の一員として教育活動を展開し、教員としての基礎・基本を身に付ける。 | 組織運営に参画したり実践的な専門性を高めたりする。 | 組織運営を推進したり同僚の模範となる実践を展開したりする。 |
| さいたま市が求める教師像：「豊かな人間性と社会性」「強い使命感と教育への情熱」「幅広い教養と実践的な専門性」を備えた常に学び続ける教師 | 1 素養 | 法令を遵守すること及び教育的愛情をもって教育活動を展開することの重要性を理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> 法令を遵守した教育活動を展開している。 倫理観、使命感、責任感を持ち続け、教育活動を展開している。 教育的愛情をもち、教育活動を展開している。 自ら学び続ける意欲をもち、研究と修養に努めている。 自らの働き方を振り返り、日々の生活の質や教職人生を豊かにしている。 | | |
| | 2 児童生徒理解 | 児童生徒理解の意義と重要性を理解している。 | 児童生徒の特徴や傾向、家庭環境、属する集団の構造等を理解し、把握することで、指導や支援に生かすことができる。 | 組織を生かしながら、より多角的・多面的に児童生徒を理解し、把握することで、指導や支援に生かすことができる。 | より望ましい児童生徒理解について、同僚に指導助言することができる。 |
| | 3 学級経営 | 学級担任の役割を理解している。 | 児童生徒どうしのコミュニケーションを促進し、よりよい集団をつくることができる。 | 学校教育目標の実現を目指し、意図的・計画的に創意工夫した学級経営を推進することができる。 | 学校教育目標の実現を目指し、よりよい学級経営を進めるため、同僚に指導助言することができる。 |
| | 4 授業力 | 授業展開に必要な基礎的なスキルを獲得している。 | 「よい授業」4つの因子をふまえ、児童生徒の実態に応じた授業展開ができる。 | 学校課題研究における目指す児童生徒像を踏まえ、児童生徒の実態に応じた工夫を取り入れ、授業展開できる。 | 同僚の授業力の向上のために模範となる授業を展開したり指導助言したりできる。 |
| | 5 特別な配慮を必要とする児童生徒への指導 | 特別支援教育の意義と重要性を理解している。 | 一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や支援をすることができる。 | 関係機関を活用し、組織的かつ計画的に指導や支援を行うことができる。 | 校内体制の充実に向け、同僚に指導助言することができる。 |
| | 6 学校運営 | 学校組織や校務分掌を理解している。 | 学校教育目標を踏まえた学級経営方針を明確にし、教科経営方針を理解し、実践することができる。 | 学年主任、教科主任、分掌主任として、組織運営をより効果的に推進することができる。 | 業務改善の意識をもって、組織運営をより効果的に推進するとともに、同僚に指導助言することができる。 |
| | 7 連携・協働 | 学び続けることの重要性や教職員の協働性について理解している。 | 組織の一員として、役割を自覚し、教職員と協働した教育活動の展開ができる。 | OJTを積極的に進め、切磋琢磨できる雰囲気をつくることができる。 | 課題を共有できる環境づくりを積極的に支援することができる。 |
| | 家庭、地域との連携の重要性を理解している。 | 「地域とともにある学校づくり」を目指し、家庭、地域と積極的に関わり、連携・協働した対応ができる。 | 「地域とともにある学校づくり」を目指し、家庭、地域、関係機関と積極的に関わり、連携・協働した対応ができる。 | 「地域とともにある学校づくり」を目指し、家庭、地域、関係機関と連携・協働したネットワークの形成ができる。 | |